



スクラム

柳井市立小田小学校

学校だより第623号

校長 浅海 範明

自分たちで作り上げることの楽しさ



「実りの秋」という言葉がぴったりくる充実感いっぱい、2学期が終わろうとしています。コロナ対応のために縮小されていた行事も従来の姿を取り戻し、いろいろな面で子どもたちの成長が感じられた2学期でした。そんな中、今年度初開催となったのが、11月7日の小田小ハロウィーン・パーティーです。

この行事の素晴らしいところは、子どもが自分たちで作り上げた行事だったということです。企画から運営まで、高学年の子どもたちが本当によくがんばってくれました。各ブースには楽しい手作りのゲームが用意され、景品まで用意されているコーナーもありました。参加する低・中学年の子どもたちも楽しい仮装でイベントを盛り上げていました。何かと出来合いのものが多い昨今ですが、パーティーを楽しむ子どもたちの様子を見てみると、「自分たちでこんなにも楽しい空間を作ることができる。」ということを実感しているようでした。また、子どもたちが喜ぶ様子を見ている高学年の子どもたちは、ちょっとお兄さん、お姉さんになったような気分で、達成感を味わっているようでもありました。この行事は高学年のリーダー性を育てたいと考えた教員の発案によるものです。運動会のときにもお話ししましたが、「立場が人を作る」のです。このような会を運営し、みんなが喜ぶ姿を見ることで、リーダーとしての行動に自信をもつと共に、自己有能感も上がるのではないかと思います。仲間や下級生から認められることは、大人からほめられることとはまた違った意味をもち、大きな自信となります。

会を運営する子どもも、会に参加する子どもも、素朴な手作りの会を素直に楽しみ、楽しさを分かち合っている様子を見て、集団の教育力が高い学校であることを再認識しました。

ふれあいあふれる年末年始に

小田小学校では、年末年始に向けてふれあいに溢れる、手作りの行事が盛りだくさんです。先日はさざ波会の方々のお世話で、焼き芋大会を行いました。全校児童というわけにはいきませんでしたが、1・2年生が育てたサツマイモをたき火の火を囲んで焼き芋にし、焼きたてホクホクの味を楽しみました。作物を育てて食するまで、食べ物を作る全ての工程を経験することはなかなかありません。お焦げの香りがするお芋もあったと思いますが、それを美味しいと感じることができるその場の雰囲気、新たな「食」の経験となります。年長者の知恵にふれることができる機会としてもとても貴重です。

そして今年も5年生がお手伝いをして、立派な門松が玄関先に設置される予定です。6年生はしめ縄づくりを行います。手作りの良さは、それを作り上げる過程での心のふれあいの良さであると思います。ここにも自分の手で作り上げる伝統行事の良さを味わう機会があります。

今年も本校教育にご支援をいただき、誠にありがとうございました。学年最後のまとめとなる3学期が順調にスタートできますよう、長期休業中の交通安全や健康管理について、ご協力よろしくお願いいたします。



柳井中学校区しらかベネット
育てたい子ども像 スローガン

ふるさとを思い 未来を拓く しらかべっ子

